

沖縄県知事選挙の結果について(談話)

2022年9月12日
安保破棄中央実行委員会
事務局長 東森英男

11日に投開票された沖縄県知事選挙では、辺野古新基地反対を掲げる玉城デニー知事が33万9767票を獲得し、自民・公明推薦の佐喜真氏に6万4923票の差をつけて再選を果たしました。

これは、玉城知事が、辺野古新基地反対は「1ミリもぶれない」とした立場に対する県民の支持であり、沖縄県民の明確な民意を示したものです。私たちは、岸田政権が、沖縄の民意に従って、ただちに辺野古新基地を中止するよう強く求めます。

今回の選挙で自公の佐喜真氏は、前回の知事選であいまいにしていた辺野古新基地について「容認」の立場を明確にして、新基地強行のための県政奪還をはかってきました。その点で今回の選挙結果は、岸田政権にとってごまかしようのない審判です。

今回の玉城知事再選は、2014年の翁長知事勝利と2018年の玉城知事誕生に続き、辺野古新基地反対を掲げた知事選の3度目の勝利であり、揺るがぬ沖縄県民の民意の表明です。

玉城デニーさんは今回の選挙で、台湾問題で緊迫する米中関係の中で、沖縄を再び戦場にさせない立場を表明するとともに、「誰1人取り残さない、沖縄らしい優しい社会」実現を掲げ、子どもの貧困解決やコロナで落ち込んだ経済の回復を掲げて県民の支持を広げました。県知事選挙と同時に行なわれた県議補欠選挙でオール沖縄の上原快佐氏が当選し、県議会の与党過半数を守ったことも重要です。

さらにいま、統一協会と自民党の癒着、この問題の解明にふたをしたままの安倍「国葬」の強行が大問題になる中で、統一協会と深い関係をもつ候補者を自公が擁立したことに県民の批判が高まったことは明らかです。

私たちは、政府・与党ぐるみの総攻撃に屈しなかった沖縄県民に敬意を表するとともに、玉城知事再選に奮闘したオール沖縄のみなさん、先頭に立ってたたかった沖縄県統一連のみなさん、支援した全国のみなさんの奮闘をたたえたいと思います。

沖縄のたたかいは、岸田政権が進める大軍拡と改憲を許さないたたかいの最前線です。当面する、安倍政治賛美の「国葬」に反対し、自民党の統一協会との癒着を許さないたたかいかとも結合して、辺野古新基地を断念させるたたかいに全力をあげる決意です。

以上